

里帰り展

出土品が28年ぶりに東伊豆に里帰り!

大昔の東伊豆^{なかみよ}～稲取中峯遺跡の出土品～

会場 東伊豆町立図書館 ロビー
(賀茂郡東伊豆町奈良本908-8)

会期 令和7年1月8日(水)～令和7年2月2日(日)
観覧時間9:30～18:00 火曜・祝日は休館

観覧
無料

中峯遺跡は、東伊豆町稲取にある縄文時代の遺跡です。
農道見高稲取線建設に先立ち静岡県が平成8年(1996)
に発掘調査しました。

今から約6,000年前に東伊豆に住んだ縄文人の生活を
発掘された出土品をもとに展示解説します。



中峯遺跡出土縄文土器

関連イベント

「中峯遺跡と発掘調査のお話 土器分類体験付き」

令和7年1月11日(土)13:30～15:30

対象 定員:20名(町民の方優先) 要申込 参加費無料
(参加申込み 東伊豆町立図書館TEL.0557-22-1111)

主催 静岡県埋蔵文化財センター
共催 東伊豆町教育委員会

お問合せ 静岡県埋蔵文化財センター
☎054-385-5500(平日8:30～17:15)

中峯遺跡の出土品が28年ぶりに東伊豆に里帰りします！

中峯縄文集落の発見

平成8年の中峯遺跡の発掘調査では、今から約6,000年前の縄文時代前期の集落が発見されました。縄文人の住まいである竪穴住居3軒のほか、彼らを使用した土器や石器が多数出土しています。

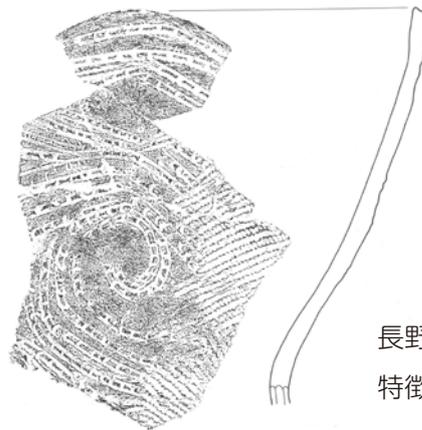
出土した土器や石器の分析から、他地域の特徴を持つ土器や箱根、伊豆諸島、長野県～群馬県周辺で得られる石材があることから、中峯縄文集落に住んだ人々は、他地域の人々と活発な交流をしながら生活していたことが分かりました。中でも、写真の石斧と土器はともに長野県～群馬県周辺の人々との関係が深い遺物であり、縄文人のネットワークの広さを知ることができる貴重な資料と言えるでしょう。



中峯遺跡調査区全景



長野県～群馬県周辺で得られる石材で製作された石斧



長野県～群馬県周辺の特徴をもつ土器

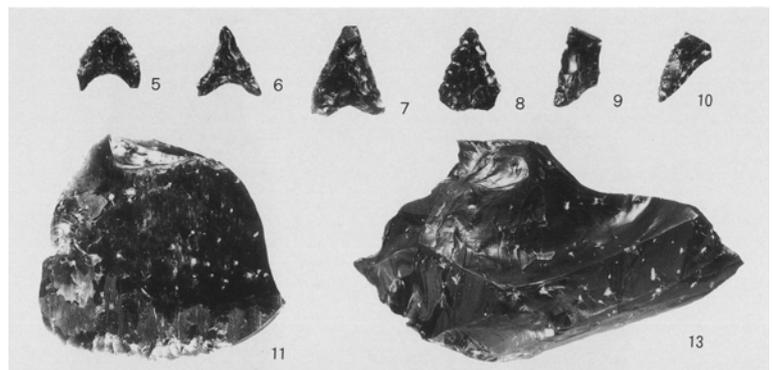
黒い宝石「^{こくようせき}黒曜石」の魅力

黒曜石は、ガラスに似た性質を持ち、脆い^{もろ}が鋭い刃を作り出すのに適しており、太古の石器の石材として重宝されました。黒曜石の産地には神津島、箱根、信州などがあります。

中峯縄文集落の東側には志津摩川が流れており、この流れに沿って歩けば約1km程で浜にたどり着きます。浜から南～東をのぞむと、伊豆諸島が見えます。集落で石器の石材に用いられた黒曜石のほぼ全ては、この浜辺から南に約61kmにある伊豆諸島の神津島から運ばれたものと考えられます。

神津島において採集された黒曜石は船で海を越え、この浜辺にたどり着き、志津摩川沿いに運ばれ、中峯縄文集落へ運び込まれたのです。

黒い宝石の魅力に魅せられた縄文人の姿を想像してみてください。



中峯遺跡出土黒曜石